

縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて

縄文遺跡群は、人類共通の宝として未来へ伝えていくべき貴重な文化遺産であるとの考えのもと、北海道、青森県、岩手県及び秋田県並びに関係自治体が連携・協力して「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指した取組を推進。 <道内(遺跡数)：函館市 2 千歳市 1 伊達市 1 洞爺湖町 2>

1 経過

- H19. 8 北海道・北東北知事サミット合意
- H21. 1 ユネスコ世界遺産暫定一覧表記載
- H25. 7 推薦書案を文化庁に提出
- R 1. 7 国の文化審議会で推薦候補に選定
- R 1.12 閣議においてユネスコへの推薦が決定
- R 2. 1 ユネスコに推薦書を提出

2 登録までのスケジュール

- R2. 春～ イコモス審査開始
- R2. 秋頃 現地調査 ↓
- R3. 5頃 評価結果の勧告
- R3. 7頃 ユネスコ世界遺産委員会で登録可否決定

3 これまでの取組

- 4 道県共同推進事業
 - ・推薦書の作成
 - ・首都圏向けフォーラム開催
 - ・海外プロモーションの実施
 - ・専門家会議
 - ・イコモス現地調査に向けたリハーサル実施
- 北海道独自事業
 - ・講演会、出土品・パネル展の開催
 - ・主要な交通拠点でのPR
 - ・北の縄文道民会議、道内大学との連携
 - ・庁内連絡会議の開催



4 対応方向

- イコモス審査対策
 - ・現地調査などへの万全な準備と対応
 - ・市町景観計画の策定
 - ・保存活用に対する地元意識の向上
- 情報の発信の強化
 - ・主要な交通拠点でのPR
 - ・多言語化に対応した映像コンテンツの制作
 - ・縄文遺跡を有する地域の協力
- 活用方策に関する検討
 - ・有識者検討会の開催
 - ・来訪者の受入体制、アクセス改善
 - ・観光資源と連携した周遊ルート設定
 - ・アドベンチャータラベルとの連動